

令和5年度行政事業レビューシート			(デジタル庁)				
事業名	常時リスク診断・対処(CRSA)システム			担当部局庁	省庁業務サービスグループ	作成責任者	
事業開始年度	令和5年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	統合運用・監視システム	古川参事官	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	デジタル社会実現に向けた重点計画(令和5年6月9日閣議決定)		
政策	情報通信技術等の適正・効率化に関する施策の推進			主要経費	その他の事項経費		
施策	情報システムの整備						
政策体系・評価書URL	https://www.digital.go.jp/policies/assessment/						
事業の目的(5行程度以内)	本事業において、各府省の政府情報システムの情報資産管理状況やシステムの状態・ソフトウェアの状況等をリアルタイムに監査・監視することができる常時リスク診断・対処(CRSA)システムの開発・構築を行い、各府省に同システムの順次展開を進めることで、政府全体のサイバーセキュリティリスクの早期検知を可能とし、サイバー攻撃リスクの低減を図る。						
現状・課題(5行程度以内)	各府省の政府情報システムの状況把握は、隔年監査や都度問い合わせ等で行っており、体系的な診断統計データ収集による政府横断での状況把握実現が困難な状況にある。また、脆弱性対応等については、運用事業者依存となっており、正確な状況把握実現が困難な状況にある。						
事業概要(5行程度以内)	令和5年度は、先行省庁によるCRSAシステムの実証を実施し、それを踏まえてCRSAシステムの要件定義を行う。令和6年度は、CRSAシステムの設計・構築を行い、令和7年度からの運用開始を目指す。						
事業概要URL	https://www.digital.go.jp/policies/security/crsa						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		令和5年度第1次補正予算	/	/	/	-	/
			/	/	/	-	/
			/	/	/	-	/
			/	/	/	-	/
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	/
		予備費等(E)	-	-	-	-	/
		計(F)=(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	-	-
		執行額(G)	-	-	-	/	/
執行率(%)=(G)/(F)	-	-	-	/	/		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)=(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	/	/		
令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算項・目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	計(A)	-	-	-			

活動内容① (アクティビティ)		令和5年度は、先行省庁によるCRSAシステムの実証を実施し、それを踏まえてCRSAシステムの要件定義を行う。 令和6年度は、CRSAシステムの設計・構築を行い、令和7年度からの運用開始を目指す。連携対象システムについては、段階的に拡大していく。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		CRSAシステムによるリスク分析の実施 と連携対象範囲の拡大	連携システム数	活動実績	システム	-	-	-	-	-
				当初見込み	システム	-	-	-	-	-
↓		成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		CRSAシステムは、リスク分析を行うのは時間がかかり、段階的に連携システム数を増やしていく必要があるため。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
		CRSAシステムの実現とリスク分析の開 始	連携システム数	成果実績	システム	-	-	-	-	
				目標値	システム	-	-	-	3	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		システム構築当初は連携システムは先行実証しているシステムと行うため3システムと設定した。								
↓		成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
				成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓		成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度	
		リスク分析対象システムを拡大させる。	連携システム数	成果実績	システム数	-	-	-	-	
				目標値	システム数	-	-	-	20	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和6年度以降、3~5システムずつ増加させることで令和10年度は20システムと設定した。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

令和4年度																				
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	<pre> graph TD A[デジタル庁] -- 委託 --> B[民間事業者] </pre>																			
	費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載																			
																				チェック

支出先上位10者リスト																			
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載																			チェック